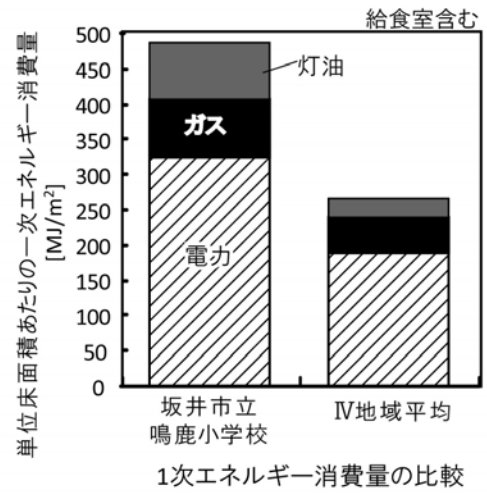
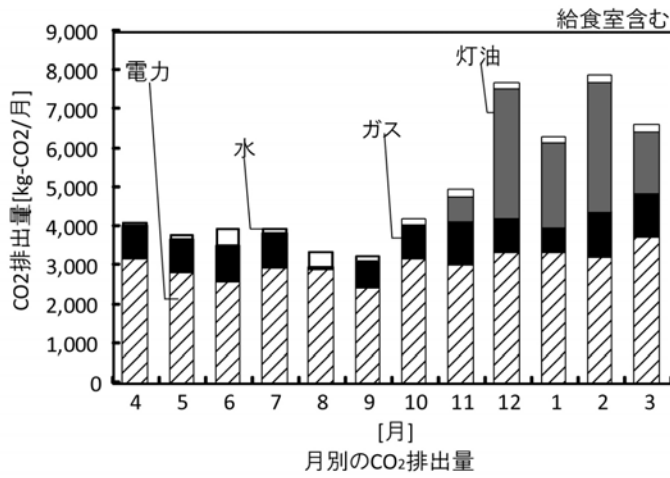


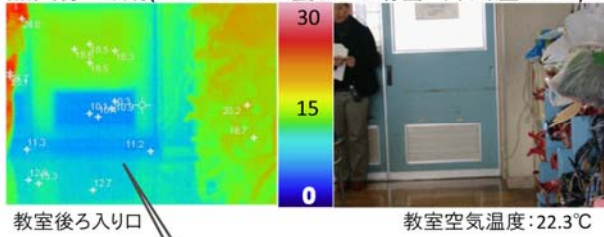
現状のCO<sub>2</sub>排出量



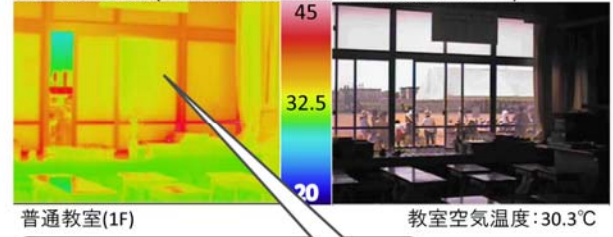
\*)地球環境のためにわたしたちができること(平成14年、文部科学省パンフレット)の値をH18年のエネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則に準じて算出した

熱画像

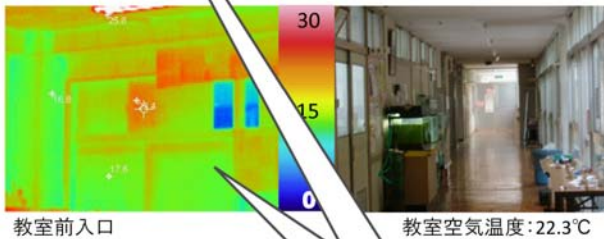
熱画像：冬期(2008.02.13 曇りのち晴雪 外気温3.0℃)



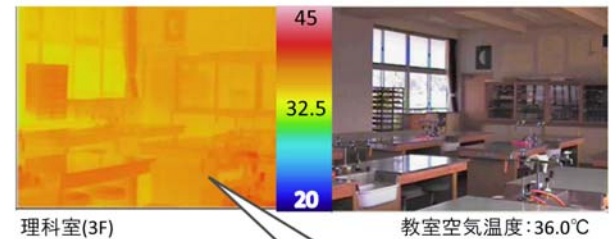
熱画像：夏期(2007.09.22 晴れ 外気温31.0℃)



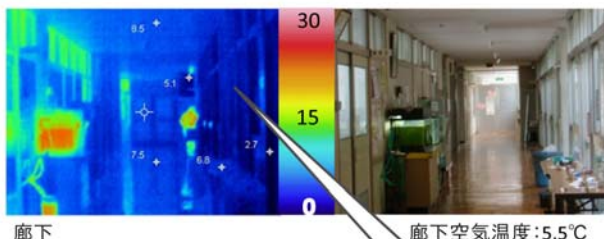
開口部表面は高いところでは、40℃を超えている。日射熱の影響と考えられる。



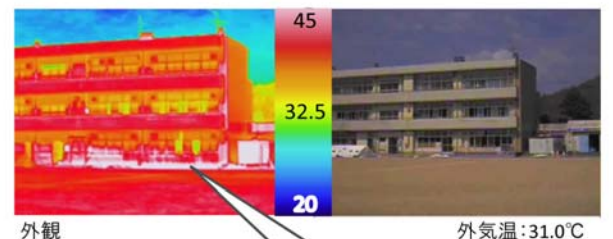
上部壁・天井表面は18℃以程度と暖まっているが、床は12℃程度と低い。



教室全体の温度ムラはないが1Fの教室に比べると全体的に高い。窓だけでなく天井からの放射熱の影響と考えられる。

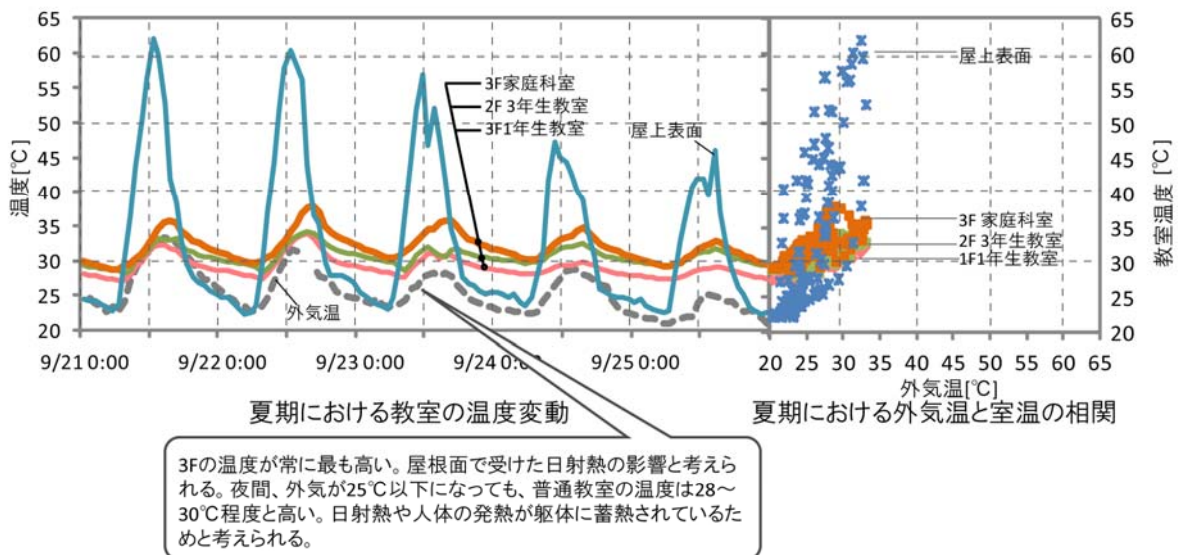
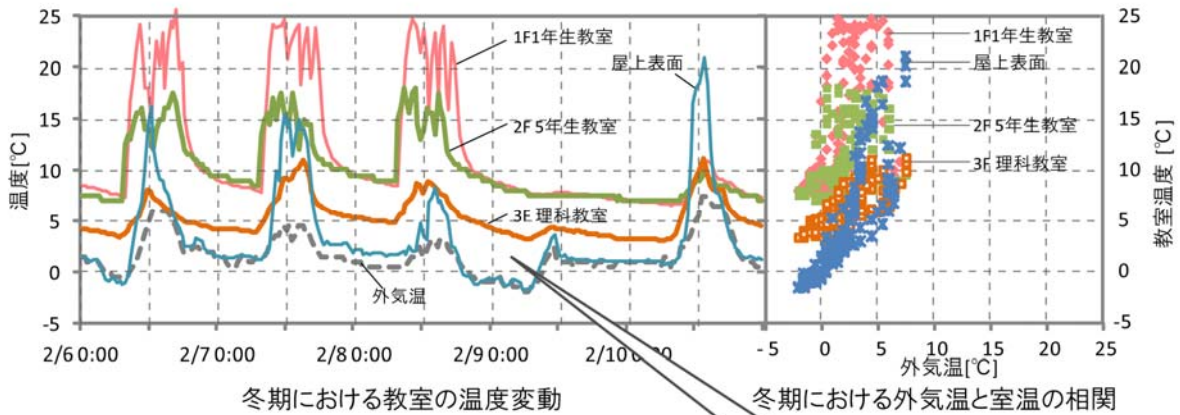


光庭に接しているガラス面は、3℃以下と最も低い。

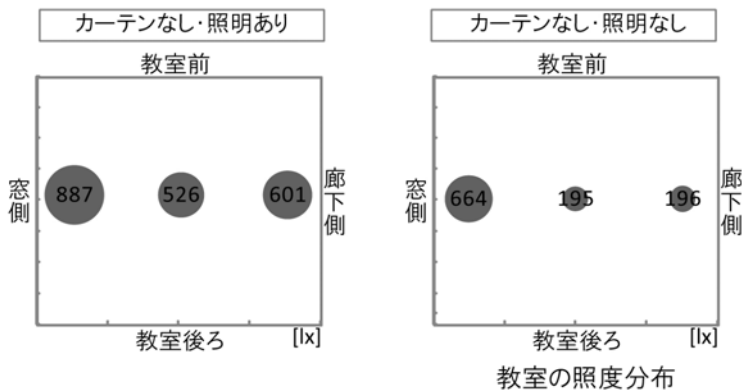


2,3階に比べて、1Fの腰壁・開口部表面の温度が高い。犬走りのコンクリート面からの放射熱の影響と考えられる。

温度変動

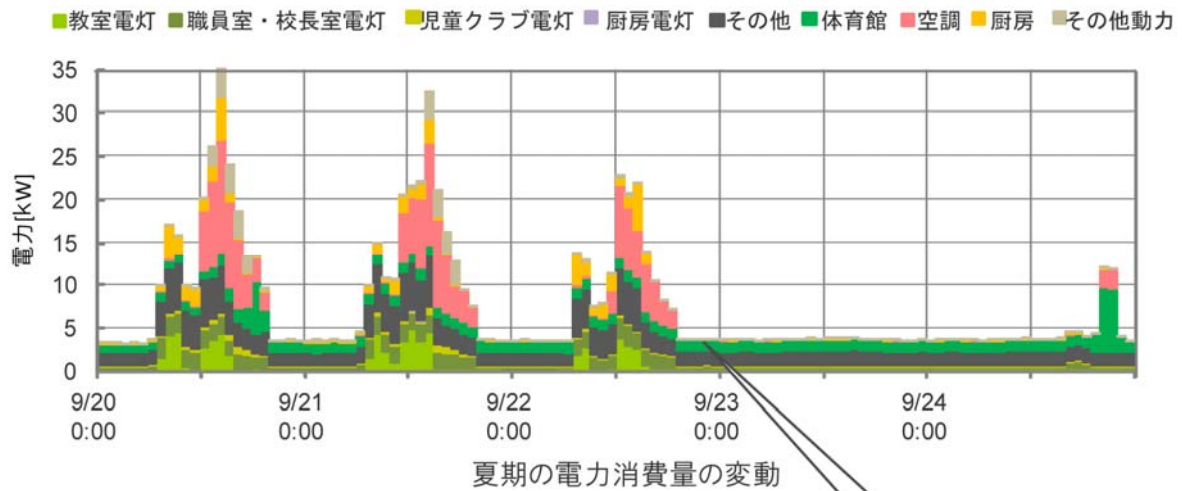
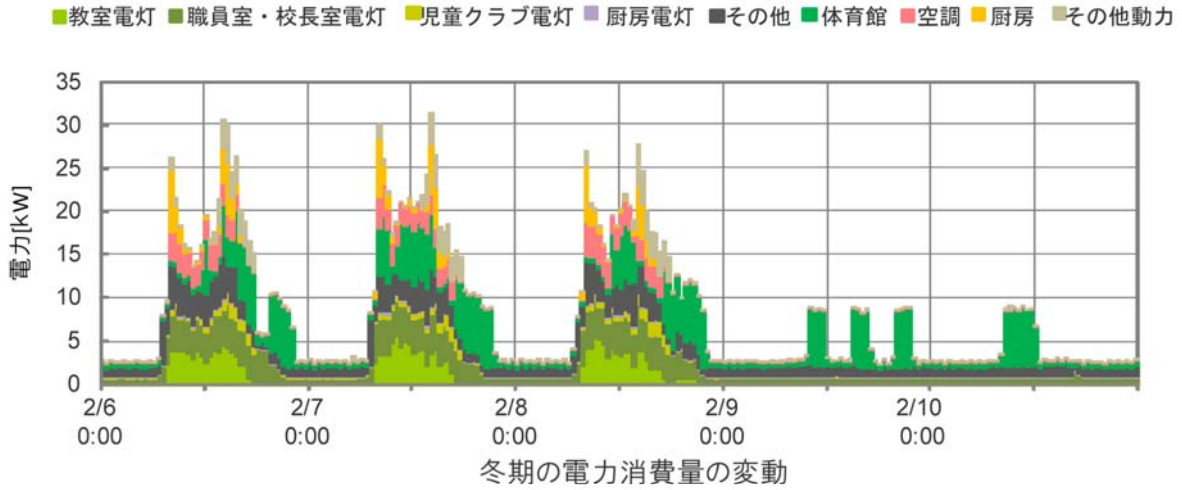


教室の照度分布



(3) 坂井市立鳴鹿小学校 環境調査

電力使用量の変動



夏期は、冬期に比べて教室や職員室の電灯の電力が少ない。しかし、待機電力が冬期に比べて多い。

CO2排出量の内訳(夏・冬の測定結果より推定)

